

航空機産業

新時代

①

「部品加工だけでの同様の製品が、航空機、自社製品を持たな宇宙でも需要があると見ればいけない」。みて応用した。競合がエステック(静岡県清 少ないことが奏功し、水町)の鈴木誠一社長 国内の大手重工業メーカーは8年前に海外の国際1のヘリコプターに採用された。

始めて以来、その思い 英語が堪能な社員を強くしていた。売り 採用、海外航空ショー分野が占め、国内では ついに海外のヘリメー部品加工が順調だが、 カーから見積もりの依頼が届いた。今は採用獲得できなかった。

そこで2年前、「ス 小型ビジネスジェットイベルジョイント」とト機「ホンダジェット呼ぶ回転式継ぎ手を開ト」と3Dプリンタ発した。建設機械向け1。東京流研(東京都

渋谷区)を語る上で欠かせないキーワードだ。重谷秀夫社長は本田技術研究所でホンダジェットの開発に携わった後、2009年に東京流研を設立した。

ホンダジェット開発では、以前から風洞試験用の機体モデル製作に3Dプリンターを活用していた。重谷社長は「数多くの失敗を経て、3Dプリンターを使いこなすノウハウを得た」と振り返る。

東京流研は3Dプリンターを用いた部品製造の設計ノウハウを武器に、宇宙航空研究開が広がるのを商機とに

器に、宇宙航空研究開が広がるのを商機とに

器に、宇宙航空研究開が広がるのを商機とに

日系各社 海外・新領域も視野

エステックは自社製品を海外市場に売り込む



どから仕事 大手は事業領域拡大を主翼内部に設置しを得てい を意識する。三菱重工 業は米ボーイングの航 速20分で飛行できる。海外で仕事 空機の機体製造を担っ カメラを搭載し、災害を得よう てきたが、従来手かけ 状況を確認するなどのド 郊外で ンル製造を視野に入れ 実用化時期は未定だ。開催中の航 自動車内装メーカー 同社は救難飛行艇「U 空宇宙産業 1との共同試作のガラ S2」を手がけるが、展「フアン ス繊維強化プラスチック 生産は3年に1機ほどポロ」国際 ク(GFRP)製壁面だ。小型実証機には航空シヨ パネルをフアンポロ 「技術伝承の目的もあ」に初出 で展示した。担当者は 「担当者」。

展した。航 「装備品や内装品にも 力を入れた」と意気 品や技術で海外の販路 開拓に動きた。大 手は既存事業領域から 一歩踏み出そうとして いる。航空機産業に新 たな芽が生まれてい

る。 (英フアンポロ) 戸村智幸

る。 (英フアンポロ) 戸村智幸

る。 (英フアンポロ) 戸村智幸

る。 (英フアンポロ) 戸村智幸